

平成 23 年 10 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成23年10月27日(木)午後2時40分～午後4時10分

2. 場 所 岸和田市立公民館2階 講座室2

3. 出席者

委員長 坂田 忠義 委員長職務代理者 毛利 高二
委員 川岸 靖代 委員 中野 俊勝 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育総務部長	柿本 邦彦	学校教育部長	岸田 隆博
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼生涯学習課長	森 幸子
総務課長	阪口 洋子	学校管理課長	門林 啓之介
学校教育課長	谷 桂輔	人権教育課長	篠本 治久
スポーツ振興課長	元廣 秀晴	郷土文化室長	道姓 清
図書館長	佐藤 正	産業高等学校事務長	道古 義和
総務課参事	大西 謙次		

開会 午後2時40分

前回会議録について異議なく承認された。本会議録署名者に中野委員を指名した。
傍聴人 0名。

報告第60号 平成23年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施について

報告第61号 「成人式」の開催について

報告第62号 第31回市民スポーツカーニバルの開催について

坂田委員長

報告第60号平成23年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施について、報告第61号「成人式」の開催について、報告第62号第31回市民スポーツカーニバルの開催については、書面にて報告とします。

何か質疑、ご意見等がありましたら発言願います。

篠本人権教育課長

報告第60号については、12月4日に「人権を考える市民の集い」が文化会館(マドカホール)で行なわれます。午後2時から式典が行なわれ、2時30分より関西テレビアナウンサー 山本

浩之 氏を講師に招き、「今、守らなければならないもの」というテーマで講演会を行なう予定です。

坂田委員長

他に何か質問等ございませんか。特にないようですので案件に移ります。

議案第43号 平成23年度岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定について

坂田委員長

議案第43号平成23年度岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定について、事務局から説明をお願いします。

阪口総務課長

本件は、岸和田市教育委員会表彰規則に該当する方で、本市の教育の振興に寄与された方、功績のあった方に対し表彰状並びに感謝状を贈呈するものでございます。今年度の被表彰者ですが、団体は13団体、個人が61名、感謝状を贈呈する方は、個人が88名で文化の日祝典プログラム案に記載の方々決定いたしたくご審議をお願いします。表彰は11月3日に文化会館(マドカホール)で行なう予定です。

坂田委員長

説明が終わりました、何か質疑、ご意見等がありましたら発言願います。

中野委員

学校教育部門で教育に関する研究論文の審査の結果、優秀な成績で表彰される方がいますがどのような内容ですか。

谷学校教育課長

4人の方々が選ばれています。3人は論文形式のものですが、教材教具の分野も対象としておりまして、学校に整備された電子黒板での授業に活用できるパワーポイントを使った簡易デジタル教科書を開発された方が1人選ばれています。

選考方法は、毎年5月末から6月にかけて、各学校に教育論文及び創作教具を先生方に募集をいたしまして、9月上旬を〆切とし、応募された論文等を和歌山大学で審査していただいております。年度末には論文集ができますので、またご覧になっていただくようにします。

坂田委員長

他に何かありませんか。ないようですので原案どおり承認します。

議案第44号 中学校給食について

坂田委員長

議案第44号中学校給食について、事務局から説明をお願いします。

阪口総務課長

現在、中学校給食の実施に向けて委員会では、中学校給食実施計画策定委員会を設け検討を

重ねております。今回、策定委員会の中で中学校給食の「対象者」「実施方法」「運営方法」の3点について案がまとまりましたのでご審議願うものです。

中学校給食の対象者ですが、学校給食法には給食はすべての児童生徒に対して実施すべきと定められています。また、中学校給食の実施を通して生徒の心身の健全な発達及び食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、健康の保持増進を図り、中学校給食を生きた教材として、正しい食の知識や食習慣を身に付け豊かな学校生活を送れるよう、市立小学校と同様、学校給食法上の完全給食を「原則、全員喫食」としたい案でございます。

次に、中学校給食の実施方法ですが、各学校に給食室を設ける自校方式、近隣の小学校から中学校に配送する親子方式、集中して給食を作り中学校に配送するセンター方式をそれぞれ検討いたしました。

自校方式は各学校に給食室を建設することになりますが、各学校とも敷地が狭く、建設する余地がない学校が多いのが現状です。また、親子方式については現在の小学校の給食室では中学校給食実施に必要な設備を増設する余地がないことから、実施できる小学校はほとんどありません。次にセンター方式ですが、給食センターを建てるには用地の確保が不可欠となります。給食センターは工場扱いとなることから、どこにでも建設できるわけではなく、用途地域としては工業地または準工業地が適することになります。これらの面積、用途地域等の条件のもと市内の候補地を比較検討し、用地確保の目途がたちました。

これらの現状を勘案した上で、イニシャルコスト、今後のランニングコストについてもそれぞれ試算し比較検討をおこなった結果、すべての市立中学校で完全給食を実施するために学校給食センターの整備を図る案でございます。

次に中学校給食の運営方法ですが、給食の安全・安全を基本とし、公・民それぞれの利点を生かし、給食の献立の作成及び食材の調達には教育委員会が責任を持って実施し、調理及び洗浄作業は、効率的に運営するため民間業者に委託したい案でございます。

ご審議のほどよろしくお願いたします。

坂田委員長

中学校給食の実施に向けて、3点について説明がありました。まず1点目の中学校給食の対象者についてご意見等ございませんか。

坂田委員長

保護者の意見の中でどうしても給食に反対というような方はいませんでしたか。

阪口総務課長

食事の量や子どもの嗜好のことなどから弁当を持たせたいという意見もありましたが、概ね8割の方が給食を希望されています。

永本教育長

全ての保護者の要望に対応するには、家庭弁当と学校給食の併用を行なうことになるわけですが、給食の喫食数が日々増減することは食材の調達など学校給食運営上さまざまな問題が生

じるように思います。現状の食生活の実態を考えると、心身ともに成長期にある生徒たちの発達には、栄養バランスとれた昼食を全ての生徒に提供することが大事であると考えます。

柿本総務部長

岸和田市では、これまで保護者と子どものふれあい、体格差など個々の生徒の状況に対応できる家庭弁当を推奨しながら、事情により弁当を持参できない生徒に対してはスクールランチを提供してきましたが、スクールランチの利用率は思ったほど伸びませんでした。このような経過を踏まえ、今回給食の実施を決定したわけですが、やはり栄養バランスの取れた完全給食を生徒全員に提供すべきであると考えます。

大阪府においても基本的な考えのなかで中学生の「食」の充実や、中学校給食を生きた教材として食育を進める観点から全員喫食が望ましいとされています。

中野委員

現在は食事の嗜好が偏った子どもたちが増えてきているように思います。平成17年に制定された食育基本法の趣旨を考えましても、安心安全で栄養バランスの取れた給食を生きた教材として生徒全員喫食として食育を進めていくほうが良いと考えます。

川岸委員

親としての意見ですが、家では好んで食べないものでも学校給食で食べてもらえるよう指導していただければありがたいと思います。

柿本総務部長

昨年行なったアンケートの意見の中に、弁当を作る際に家での食材が限られてくること、また朝の時間的問題からレトルト食品に頼ってしまうため、子どもの栄養バランス等の心配から、学校給食を実施していただきたいとの意見がありました。

永本教育長

一部で家庭弁当への根強い思いがある方がいらっしゃるのとは確かですが、圧倒的に学校給食を望んでいる保護者の方が多いというアンケート結果、並びに現在の子どもたちの食を取り巻く環境を考えると全員喫食が望ましいと考えます。

坂田委員長

様々な意見が出ましたが、やはり給食も教育の一環である捉えますので、全員喫食とするほうが良いと考えます。いかがですか。

坂田委員長

ご異議無しということですので、「原則、全員喫食」という案を承認します。

坂田委員長

次に中学校給食の実施方法について何かご意見ございませんか。

中野委員

小学校で中学校の生徒の分も調理する親子方式は、献立が小学生と中学生と同じというのは少し無理があるように思います。2種類の献立を用意するのか量を調整するのか難しいですね。

毛利委員長職務代理者

現状の小学校の給食室で中学生の分を調理するのは無理でしょうね。

柿本総務部長

現在の小学校の給食室で2回調理してはどうかの検討もありましたが、調理してから喫食するまでの時間が定められていますので安全面でのリスクが大きく難しいと考えます。定められた時間内に調理するためには給食室の増改築及び設備の増設等が必要となります。

阪口総務課長

大阪府の施設整備に関する補助金ですが、中学校給食の実施のため小学校の給食室を増改築した場合は、増改築費全体を補助対象とするのではなく、中学校実施により増加する部分について喫食数などで按分され措置されるようです。

柿本総務部長

ランニングコストにつきましても、中学校の給食を担ってくれる小学校が調理民間委託校、直営校にかかわらず給食調理員を増員する必要があり高くなることとなります。

中学校にそれぞれ給食室を設ける場合でも、まず建設できる余地のある学校は少なく、運動場が狭くなったり、既存の施設設備を移設あるいは撤去しなければならないなど、学校運営に支障をきたすことになり難しいと考えます。

坂田委員長

自校での給食室建設の問題点、小学校の給食室の増改築の問題点などを伺いますと、給食センターでの実施がいいのかなと思いますね。

先日、給食センターへの視察に参加しましたが、調理設備や保温食缶、コンテナなどの備品、配送設備など現在は技術的に進歩しているのだなと感心しました。

永本教育長

それぞれの方法でのメリット、デメリットまたイニシャルコストやランニングコストなど総合的に調査検討を重ねた結果、センター方式を提案させていただきました。

坂田委員長

総合的な判断によりセンター方式でとの提案ですが、ご異議ございませんか。

無いようですので、「センター方式」の案を承認します。

柿本総務部長

センター方式での実施に不可欠となる用地でございますが、現在、一定規模の面積があること、給食調理後2時間以内の喫食が可能であること、また給食センターは工場扱いとなることから用途地域としては工業地域または準工業地域が適していることなどの条件のもと候補地を選び絞り込んでいるところです。教育財産の中には候補地となる用地がありませんので、市有地または購入可能な土地を市全体のなかで検討しています。最終、本市の政策決定機関であります政策推進戦略会議に諮り決定したいと考えています。

坂田委員長

候補地について説明がありました。何かご意見ございませんか。

永本教育長

現在5つの候補地について検討しています。どの候補地も部長が申しあげましたとおり条件をクリアできる場所ですが、教育委員会だけで決定できるものではございませんので、市の決定機関に諮っていきたいと考えています。

坂田教育長

それでは次に、3点目の中学校給食の運営方法については、小学校給食において調理洗浄業務については民間委託を進めているなか、中学校給食においても民間委託でとの案ですが、なにかご意見ございませんか。

特にご意見ないようですので、「民間業者に委託」する案を承認します。

議案第45号 補正予算について（総務課 債務負担行為補正）

坂田委員長

議案第45号補正予算について（総務課 債務負担行為補正）事務局から説明をお願いします。

阪口総務課長

小学校給食における調理洗浄業務については、現在6校において民間委託で実施しておりますが、給食調理員の退職に伴い平成24年度に新たに1校を民間委託で実施したいと考えております。学校給食の調理洗浄業務を民間委託に切り替える場合、給食機器の引継ぎ、調理洗浄作業の指導等、様々な準備が不可欠であり、十分な準備期間を確保する必要があることから2月末までに委託契約を締結いたしたく第4回定例市議会において債務負担行為補正をお願いするものです。期間は平成23年度から平成26年度まで、限度額は52,755千円以内とするものです。

坂田委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

毛利委員長職務代理者

委託を実施する学校の基準はありますか。

阪口総務課長

受託業者は、学校の給食施設、設備及び器具を使用し業務を履行するため、衛生管理等が適切に行なえるようドライシステム、下処理室が整備されている学校であり、また受託者は学校栄養職員の指示のもと業務を履行するため、学校に栄養職員が配置されていることが必須条件となります。

坂田委員長

他に何かございませんか。ないようですので、小学校給食調理業務の委託契約がスムーズに行なわれるよう補正予算要求を行なってください。

議案第46号 補正予算について（学校管理課 事業費補正）

坂田委員長

議案第46号補正予算について（学校管理課 事業費補正）について、事務局から説明をお願いします。

門林学校管理課長

本件は、平成23年5月12日に岸和田市中北町3-12 梶野郁子さんより幼児教育の振興に充てていただきたいと100万円のご寄附がありましたので、この寄附金を活用し幼稚園にデジタルテレビを購入し、園児が放送番組を通して様々な体験の中から生きる力、考える力を身に付けられるよう研究している放送教育などに活用したいと考えています。つきましては第4回定例市議会に歳入・歳出それぞれ100万円の事業費補正をお願いするものです。

坂田委員長

説明が終わりました。 質疑、意見等がありましたら発言願います。

坂田委員長

特にご意見がないようですので、原案のとおり承認します。

議案第47号 補正予算について（学校管理課 債務負担行為補正）

坂田委員長

議案第47号補正予算について（学校管理課 債務負担行為補正）事務局から説明をお願いします。

門林学校管理課長

現在、本市学校園の耐震化については、岸和田市学校教育施設耐震化計画に基づき年次的に進めております。今回、平成25年度に耐震化工事を予定している学校園の耐震診断等の業務を委託するに当たり、設計事務所及び判定機関の混雑が予測され、十分な準備期間を確保する必要がありますので、耐震補強工事に係る耐震診断・補強設計業務委託費の債務負担行為補正を第4回定例市議会にお願いするものでございます。期間は平成23年度から平成24年度まで、限度額は79,640千円以内でございます。対象となる学校園は小学校5校、中学校1校、幼稚園2園、産業高等学校でございます。

坂田委員長

説明が終わりました。 質疑、意見等がありましたら発言願います。

坂田委員長

現在の耐震化率はどのような状況ですか。

門林学校管理課長

平成23年度末で約80%となります。今年度耐震診断等を行なって、平成24年度耐震化工事が終われば約85%になる予定です。

中野委員

震災の影響で、資材が不足し工事に支障をきたしているというようなことはありませんか。
門林学校管理課長

今年度始めは、委員おっしゃるとおり資材が入りにくくなり工事が遅れるのではと心配しましたが、比較的順調に実施できました。逆に震災地での復興作業が遅れているのではないかと心配します。

坂田委員長

他に何かございませんか。ないようですので、原案のとおり承認します。

議案第48号 補正予算について（図書館 事業費補正）

坂田委員長

議案第48号補正予算について（図書館 事業費補正）事務局から説明をお願いします。

佐藤図書館長

本件は、平成23年9月22日に高石市羽衣4丁目7-10 山本清治さんより50万円、平成23年10月6日に大阪市中央区北久宝寺町2丁目4-7 財団法人 永井熊七記念財団 理事長 永井一夫さんより50万円をそれぞれ図書購入費に充てていただきたいとご寄附がありました。つきましては第4回定例市議会に歳入・歳出それぞれ100万円の事業費補正をお願いするものです。

坂田委員長

説明が終わりました。 質疑、意見等がありましたら発言願います。

坂田委員長

特にご意見がないようですので、原案のとおり承認します。

坂田委員長

本日、予定していた案件は人事案件を残すだけですが、その他でなにかございませんか。

議案第49号は、人事案件につき非公開が適当と考えるがいかがですか。

（ 各委員の同意意見 ）

非公開への賛同がありましたので、議案第49号教職員人事については、非公開とします。 関係者以外は退席願います。

（ 関係者以外退席 ）

閉会 午後4時10分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員